



春南中だより

春日部市立春日部南中学校 令和4年度 第6号 令和4年10月4日発行

「自分を信じ、仲間を信じ、最後の最後まで全力を尽くす素晴らしさ！」

教 頭

8月1日に行われた「全国高等学校総合体育大会」通称「インターハイ」男子バスケットボール決勝。最終第4ピリオド残り42.9秒4点ビハインドからスタートした福岡第一高校が残り5秒で逆転のスリーポイントシュートを決め、77対76でインターハイ優勝を果たしました。

第4ピリオド残り42.9秒、福岡第一高校のスローインでスタートし、残り37秒でミドルシュートを打つが外れて、残り35秒で4点差のまま相手ボールとなる。私はこの時点で逆転は厳しいのではないかと勝手に思っていました。

しかし、福岡第一の選手は誰一人として諦めることなくディフェンスでプレッシャーをかけ続け、相手のミス誘ってボールを奪い、残り21.3秒で2点差まで詰め寄る。必死で逃げ切ろうとする相手から、またもパスミス誘ってボールを奪うと、キャプテンの轟君は同点の2点シュート狙わず、一番シュート成功率の低い3点シュートを選択し、スリーポイントラインの外で待っていた2年生の崎濱君に躊躇することなくパスをすると、残り5秒で崎濱君が逆転のスリーポイントシュート決め、劇的な勝利（全国制覇）を収めました。私は、見事に逆転勝利を果たした選手達の表情を見て、改めて最後の最後まで諦めずに、「全力で取り組むこと」の大切さを教えられました。

試合後のインタビューで、キャプテンの轟君に、なぜあの場面で、後輩の崎濱君にパスを出したのか聞かれると、「人一倍シュート練習をしていたから信頼していた」と笑顔で答え、パスを受けた崎濱君は、ジャストのパスで、パスを受けた瞬間から「入るとしか思わなかった」「打った瞬間も入ると思った」と答えた。

この言葉を聞いただけでも、自分を信じ、仲間を信じ、毎日血の滲むような努力をチーム全員で続けてきたことがわかりました。監督の「僕の予想を超えていた」という言葉にも、生徒との固い絆と信頼関係を感じました。

「自分を信じること、仲間を信じること、全力で取り組むこと」について生徒の皆さんはどのように考えますか。

2学期が始まり、1ヶ月が経ちました。教室を訪問し、生徒の皆さんが全力で取り組んでいる様子を見る時間が私はとても好きです。頑張る課程においては、全力で取り組んでも上手くいかなかったり、挫折したりすることもあるでしょう。でも、大丈夫です。大きな目標と、それに近づいていくための小さな目標を立て、一步步進めていくことで、きっと皆さんの成長や自信につながると思います。

この春日部南中学校で、これからも仲間と一緒に力を合わせて頑張っていきましょう。

